

# 04 へら鮎釣りの仕掛け

へら鮎釣りの仕掛けは決して複雑で難しいものではありません。  
必要なことはできる限りシンプルで無駄なく作ることで。  
あせらずていねいに作ってください。

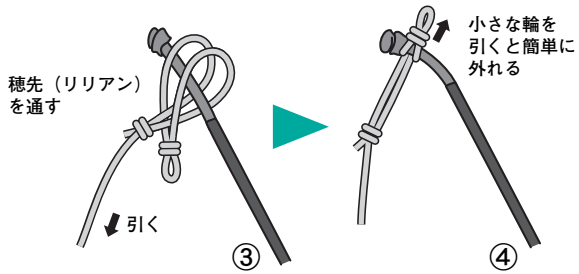
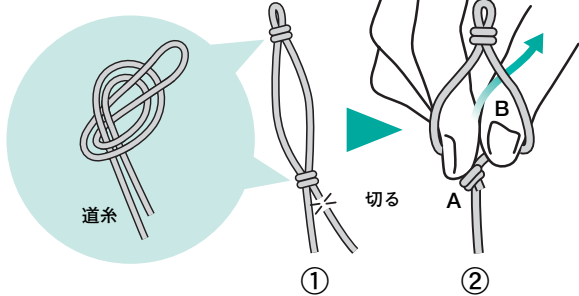


## 1 道糸を穂先に結ぶ

無精付けは、簡単でポピュラーな道糸を穂先に結ぶ方法です。

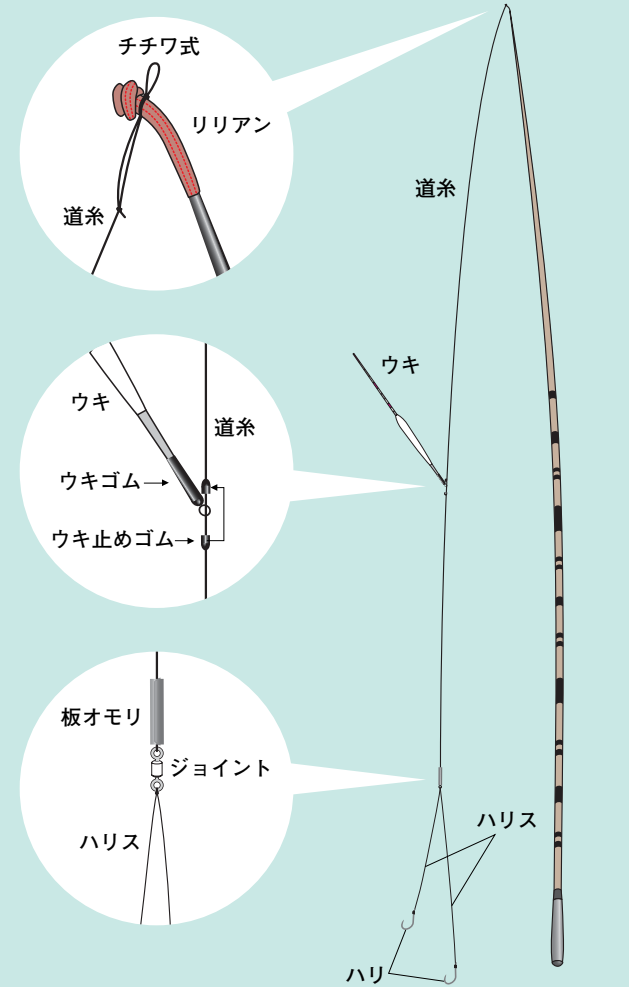
### 無精付け

片結び、または8の字結びでチチワを作る



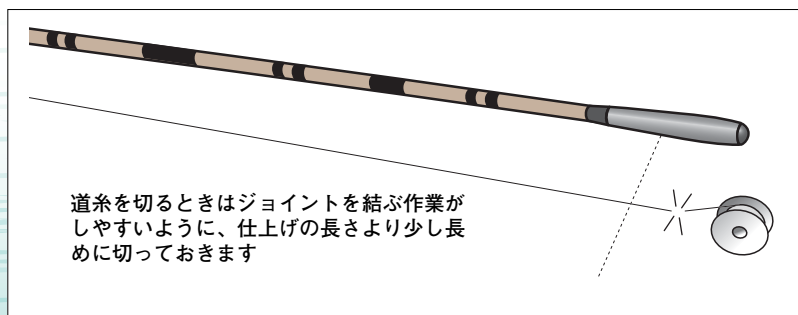
- ① 結び目を作る長さで道糸を折り返し、上下にチチワを作る
  - ② Aの結び目をBの方に引いて輪を作る
  - ③ 竿先のリリアンを②でできた輪に通し道糸を引き輪を絞る
  - ④ 結び目をリリアンのコブに寄せて完成
- 仕掛けを外すときは小さな輪を引っ張ると簡単にはずれます

## へら鮎釣りの基本的な仕掛け

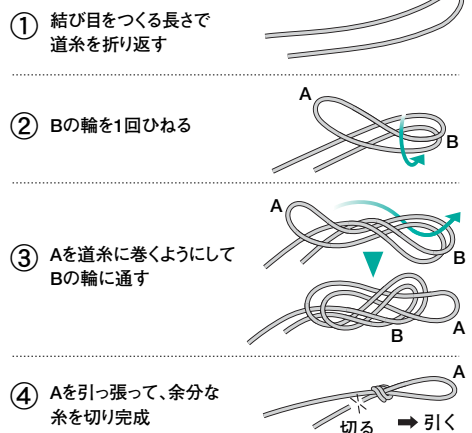


## 2 道糸の長さを決める

道糸を竿に結んだら、次は仕掛けの長さを決めましょう。竿の握りの中間に、道糸とハリスのジョイント(丸カンなど)がくる長さになります。



### 8の字結び



※8の字結びは、片結びより結び目がしっかりしていて解けにくい

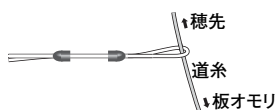
**3**

ウキ止め、ウキゴムを通す

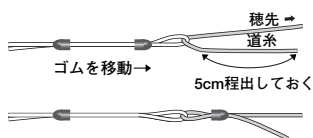
ウキゴムの付け方



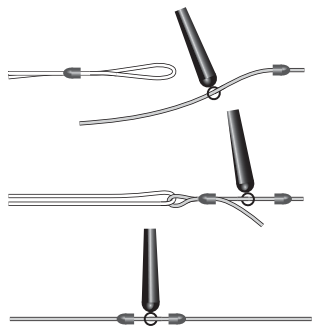
① ウキ止めゴムを道糸に通す



② ゴムを道糸に移動する。このときに道糸を濡らしておくともスムーズに移動でき道糸が傷付かない



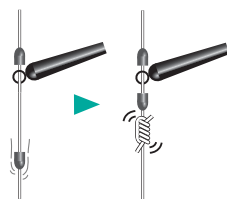
③ 次にウキゴムを道糸に通し、再びウキ止めゴムを道糸に通して完成



道糸の長さが決まったら、下からウキ止めゴム、ウキゴム、ウキ止めゴムの順で道糸に通します。ウキ止めゴムを移動する際は、摩擦で道糸やゴムの劣化を防ぐために道糸を湿らせておくといでしょう。また、ウキ止めゴムがない場合は目印に使うトンボでもウキ止めは可能です。トンボはウキ止めがゆるんでしまったときの補強にも使えます。

ゴムがゆるんだときの対処方法

オモリの下(もしくは上)にトンボを結んで補強する



ストッパーがゆるんでズレてしまったときは、その場でトンボを結び補強すればOK

トンボの結び方



刺しゅう糸、または太めの木綿糸を用意して8~10cm程度に切る。木綿糸をウキ止めに使用するときには2重にする



Bと道糸を軸としてAを輪の内側に巻き込んでいく



Aを3~5回巻いていく



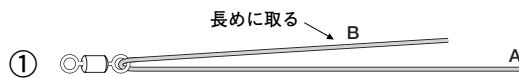
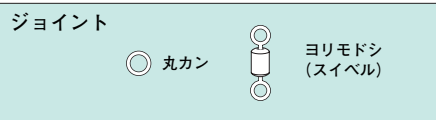
AとBを引き締め余分な糸を切って完成。なお、糸は水に濡れると締まるので、締め過ぎないように注意する

**4**

道糸にジョイントを結ぶ

次に道糸とハリスのジョイント部となる丸カン、もしくはヨリモドシを道糸に結びます。結び方はチチワ式でもかまいませんが、シンプルさと強度の点ではクリンチノットで結ぶことをおすすめします。また、ジョイント部分の金具はウキに余分な重さを背負わないように、できるだけ小さなものを選びましょう。

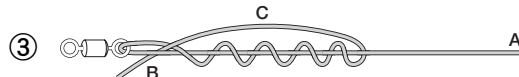
クリンチノットの結び方



① ジョイントに道糸を通す際、BをAに巻き付けるので、Bは長めの方が作業がしやすい



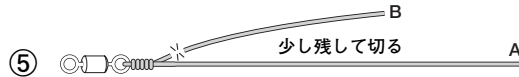
② BをAに5回ほど巻き付ける



③ Bをジョイントに一番近い輪に通す

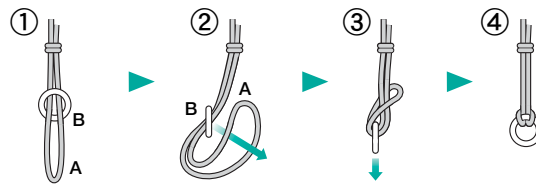


④ BをAとCの輪に通した後、AとBを引き締める



⑤ Bを結び目から2~3mm離れたところで切って完成。結び目ギリギリで余分な糸を切ると、結び目がほぐれやすくなるので注意する

チチワでジョイントを固定



① ジョイントにチチワを通す

② BのジョイントをつまみAの輪を通す

③ ジョイントを引っ張る

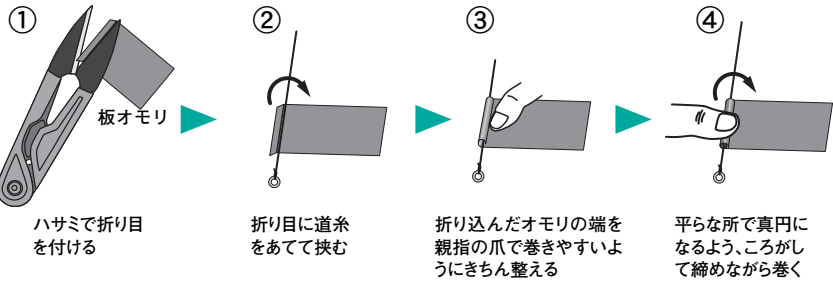
④ 完成

5

オモリを巻く

板オモリは厚さが0.2～0.25mmくらいのもので扱いやすいでしょう。まず、ハサミを利用して板オモリに折り目を付けます。そこに道糸を挟んで、できるだけ真円になるようにしていねいに巻きましょう。平たく巻いてしまうと、水中で不規則な落下をして仕掛けが絡みやすくなるので注意してください。オモリの長さはウキの浮力によっても異なりますが、最初に巻く長さは少し多めの1.5cmから2cmくらいが目安になります。また、1カ所に多くのオモリを巻かないようにしましょう。オモリが多く必要な場合は2カ所に分けて付けるようにしてください。

板オモリの巻き方

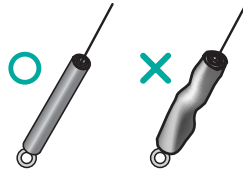


ハサミで折り目を付ける

折り目に道糸をあてて挟む

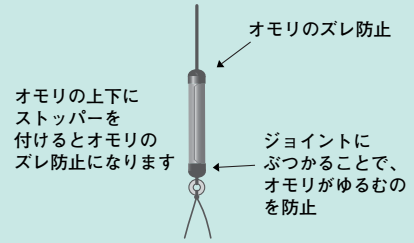
折り込んだオモリの端を親指の爪で巻きやすいようにきちん整える

平らな所で真円になるよう、ころがして締めながら巻く



平たく巻いてしまうと、水中で不規則な回転をして仕掛けが絡まったりすることがあるので、オモリはていねいに巻きましょう

オモリのズレ防止方法



オモリのズレ防止

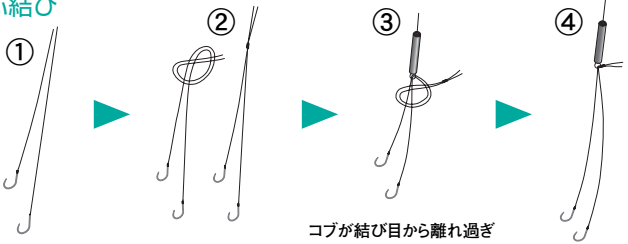
オモリの上下にストッパーを付けたらオモリのズレ防止になります

ジョイントにぶつかることで、オモリがゆるむのを防止

6

ハリスを結ぶ

こぶ結び



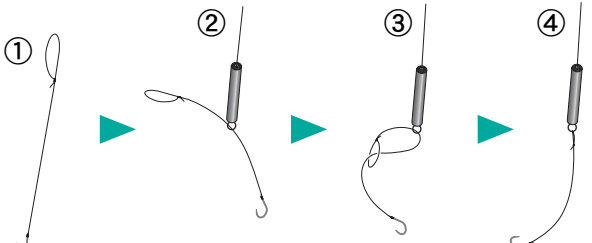
2本のハリスの長さを決める

2本まとめて片結びでコブ(結び目)を作り、コブから上の余分な糸を2～3mm残して切る

コブが結び目から離れ過ぎないようにジョイントに結ぶ。結び方はコブがストッパーの役目をするので、片結びまたは8の字結びでもよい

しっかり締めて完成

チチワ結び



ハリスの長さ(1本)を決めてチチワを作る

ジョイントにハリスを通す

チチワにハリスを通す

ハリスを引き締めて完成

糸にハリの付いたハリスを、道糸に取り付けたジョイント部に結びます。ハリスをジョイントにセットするには2通りの方法があります。ひとつは長さを変えた2本のハリスをひとつに結んでセットする『こぶ結び』、もうひとつは『チチワ結び』です。

こぶ結びはハリスを簡単にセットできる反面、ハリスを交換するときには2本一緒に換えなくてはなりません。これに対してチチワ結びはチチワを作る分少し手間が掛かりますが、ハリスの交換が1本ずつできるのが利点です。ハリスはたとえ切れなくても縮れたりするとアタリがウキに伝わりにくくなるので、まめに交換するようにしましょう。そのため、ハリスの結び方は自分がやりやすい方法を選んでください。

# 05 ウキのエサ落ち目盛りを決める

仕掛けを水に投入してオモリの重量でバランスが取れてウキが立ちます。このとき、ハリにエサが付いていない状態で水面から出ているウキの目盛りを「エサ落ち目盛り」と呼びます。この目盛りを基準にエサの重さで目盛りが沈んでいくところから、へら鮎釣りがスタートします。

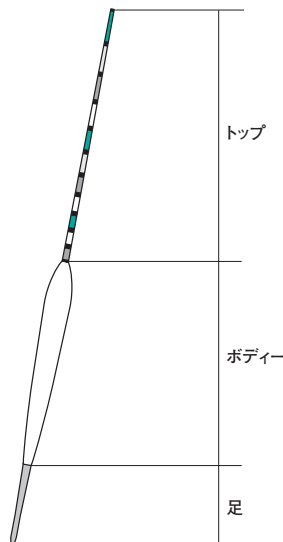


## エサ落ち目盛りの意味

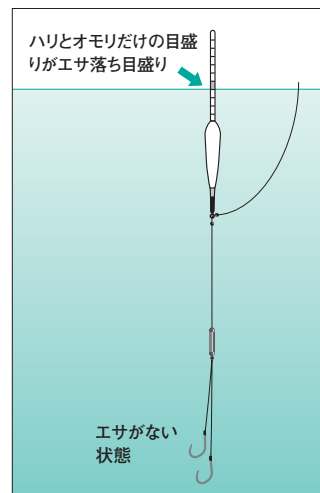
エサ落ち目盛りの意味は、その名の通り「ハリからエサが落ちている（付いていない）状態」を表しています。

エサを付けて仕掛けを投入し、オモリの重さでウキが立ってあらかじめ決めておいたエサ落ち目盛りから3目盛り余分に沈んだとしましょう。この3目盛り分がエサの重さで、自分が釣ろうとする水深（タナ）までエサが溶けずに持っていることを示しています。これを「なじみ幅」と呼びます。このように、エサ落ち目盛りは水中でのエサの状態を知らせてくれる重要な役割を担っています。慎重にオモリの調節をし、キチッとエサ落ち目盛りを確認しておくことが大切です。

## ウキ各部の名称



※ウキの各部を示す際、ボディーと足の部分を含めてボディーと呼ぶ場合がありますが、本書ではトップ、ボディー、足の3つのパーツサイズは別々に表記することとします

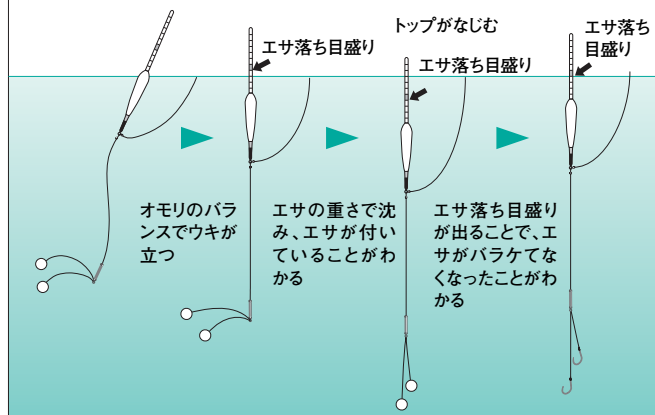


## エサ落ち目盛りの位置

エサ落ち目盛りは、ウキのトップの長さ（目盛りの数）によって位置が変わりますが、基本的なエサ落ち目盛りは「トップの付け根から3分の1くらい上のところ」です。ほとんどのウキがこの位置で最もバランスがよく、アタリがはっきり出る位置になっているようです。

具体的に例を上げると、11目盛りのトップのウキだと、トップの付け根から4目盛りの上の位置、水面から7目盛り出た下の位置がエサ落ち目盛りとなるわけです。

## エサ落ち目盛りの役割



## エサ落ち目盛りを出すためには

エサ落ち目盛りの調節は、道糸に巻いた板オモリをハサミで少しずつ切って行ないます。オモリを切って調節する目安として、厚さ0.25mmの板オモリを使った場合はオモリ約1mmで1目盛りと覚えておくと便利です。例えば、水面からあと1~2目盛り出したい場合、ハサミで1mmずつ2回に分けて様子を見ながら切ります。ここで適当に切ってしまうと、一気に目盛りが出てしまうので注意してください。

## オモリ調節の方法

11目盛りのトップでは、エサが付いていない状態で付け根から4目盛りがエサ落ち目盛り

エサ落ち目盛り

エサは付いていない状態

オモリが軽いとエサ落ち目盛りよりボディー側が出てしまう。この場合はオモリを足すかオモリを巻き直す

オモリが軽い

オモリが重い

エサ落ち目盛りよりもトップが沈んでしまうようであればオモリが多すぎる。この場合はオモリをいっぺんに切らないように1~2mmずつ切って調節する

最後の微調整は角を切る

※エサ落ち目盛りを決めるときは、竿先とウキまでの道糸は水に沈めてください